

# アジア世界

## 東アジア文化圏の形成～東アジア諸地域の自立化

6 次の文章を読み、あとの各問いに答えよ。

10世紀後半、宋（北宋）は、唐の滅亡後約70年ぶりに中国を統一した。[A]の朱全忠によって唐が滅び、五代十国の分裂の時代が続いたことへの反省から、宋では、[B]主義に基づく皇帝独裁の政治体制が作りあげられた。科挙に、皇帝自らが試験官となって宮中で行う[C]が取り入れられ、官僚は文字通り皇帝の手足となった。官僚の出身者の多くは、貴族に代わって、経済力のある新興地主となった。このような新興地主を[①]と呼ぶ。

宋は遼や西夏といった周辺民族が建てた国家の圧力を受けていたため、防衛費がかさみ、多数の官僚への支出とあわせて、国家財政の大きな負担となっていた。この問題を解決するため、11世紀後半、神宗によって宰相に起用された[D]は、[E]と呼ばれる改革を始めた。これは、財政面の改革だけでなく、農民に対する救済策など、多方面にわたる富国強兵策であった。しかし、支配層である官僚や大商人の利害と衝突する内容を含んでいたため、強い反対を受けた。この反対勢力を[F]党と呼び、その中心人物が[G]であった。そして、改革を支持する[E]党と、[F]党との対立が始まり、[D]は失脚した。党争は北宋末まで続き、北宋滅亡の一因になったといわれている。

北宋が党争に明け暮れていた12世紀初め、中国の北部では、情勢が大きく変化していた。中国の東北地方に住み、長い間遼に服属していた[H]が、[I]を中心にまとまって独立し、金を建国したのである。勢いに乗った金は、北宋と同盟を結び、遼を滅ぼした。この際、金は北宋の約束違反を理由に華北を占領し、北宋を滅ぼした。これを[J]の変と呼ぶ。これに対して、北宋の皇帝の一族が江南に逃れて帝位につき、南宋を建国した。南宋は首都を[K]においた。当初、南宋は金と対立し、華北の回復を目指したが、のちに金と和平を結んだ。

問1 空欄[①]に該当する最も適切な語句を、漢字3字で記せ。

問2 空欄[A]～[K]に該当する最も適切な語句を、次の中からそれぞれ選び、符号で答えよ。

- ア. 李元昊    イ. 女真    ウ. 進士    エ. 旧法    オ. 司馬光    カ. 九品中正  
キ. 靖康    ク. 臨安    ケ. 大越    コ. 文治    サ. 兩税法    シ. 都護府  
ス. 開封    セ. 安祿山    ソ. 洛陽    タ. 殿試    チ. 完顔阿骨打    ツ. 新法  
テ. 楊炎    ト. 節度使    ナ. 黄巢    ニ. 耶律阿保機    ヌ. 建康    ネ. 武断  
ノ. 王安石    ハ. 郷挙里選    ヒ. 蘇軾    フ. 岳飛    ヘ. 趙匡胤    ホ. 靖難